

送迎車両の運行を開始しました



(平成 29 年 11 月 29 日出発式にて)

当院は最寄り駅から徒歩で約20分を要する山すその傾斜地に立地することから、長年に渡り、来院の際、患者のみなさまには大変ご不便をおかけしておりました。

平成29年11月29日より多数ご要望のありました送迎車両の運行を開始いたしました。

運行業務はNPO法人洛南福祉会JACS洛南共同作業所に委託し、運行補助員を配置することで障がいのある方の就労支援にも努めております。

運行時間はJR黄檗駅8時30分を始発、病院16時40分を最終とし、1日26往復、片道10分程度です。利用定員は8名、無料でご利用いただけます。

利用定員が少なく時間帯により乗車していただけない場合や天候・道路事情等により遅延等となることもあります。安全第一の運行に努めて参りますので、来院の際には是非ご利用ください。

時刻表

JR黄檗駅 発		洛南病院 発
30 47	8時	38 55
3 19 35 51	9時	11 27 43 59
7 23 39 55	10時	15 31 47
11 29 45	11時	3 21 37 53
5 25 45	12時	15 35 55
5 25 45	13時	15 35 55
5 25 45	14時	15 35 55
5 25 45	15時	15 35 55
3	16時	11 40



(※時刻表は今後変更する場合がありますので、ご利用前にご確認ください。)



地域生活探検隊(精神科作業療法)について

精神科作業療法とは、回復段階に応じて目標を設定し、様々な活動や人とのかかわりを通して、病気からの回復をすすめ、自分らしい生活が送れることを目指すリハビリテーションです。

作業療法では、病棟で行う活動から病棟外の作業療法室で行う活動、地域移行を目的に外出をメインとするプログラム、集団が苦手な方にはニーズに合わせた個別での関わり、また依存症の方を対象に回復を支援する治療プログラムなど様々なプログラムを実施しています。

今回は、地域移行を目的に実施しているプログラム「地域生活探検隊」を紹介します。

地域生活探検隊は、長期入院の方を対象に、地域生活のイメージ作りや退院への不安軽減を目的としたプログラムです。内容としては、地域探索(スーパーやコンビニ、電車の利用など)や院内実習(簡単調理やサービスについての講義など)があり、外出や話し合いを通して楽しみながら生活の幅を広げることを目指します。また地域の支援センターや相談支援事業所などの機関とも連携して、入院中から地域のスタッフとの交流を通して、地域の支援サービスを知る機会を設けています。



電車で外出☆久しぶりで緊張…



初詣！！ 何年ぶりだろう

☆京都府こころのケアセンター建物オープン

京都府こころのケアセンター建物が平成30年2月1日から全面オープンしました。

同センターは、京都府産木材を使用したテーブル、椅子及びパーティションにより、温かい雰囲気相談環境づくりに努めています。



☆DPAT 先遣隊隊員となりました

当院職員が DPAT 先遣隊員として厚生労働省に登録されました。

※DPATとは…災害派遣精神医療チーム (Disaster Psychiatric Assistance Team) のことで、大規模災害等において精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣精神医療チームのことです。その中でも先遣隊は発災後概ね48時間以内に派遣され、活動拠点本部の立ち上げなど当面の活動の責任者となるものです。

DPAT先遣隊隊員：山下俊幸(医師)、井口善晃(看護師)、岩根達郎(ロジスティック)



☆皆さんの体の健康もサポート ～管理栄養士にご相談ください～

当院では入院中や外来受診されるときに、必要な方に管理栄養士が栄養指導をしています。「最近体重が増えてきた」「血液検査の数値が悪くなった」「退院した後の家での食生活が不安で」等食事や体に関することの相談に応じています。

お薬の副作用から空腹感を強く感じて、食べ過ぎてしまったり、喉が渇いて、ソフトドリンク等を多量に摂取してしまい、体重が増えてしまう方もおられます。また、体の倦怠感から活動性も低くなり、運動量が減り、体重管理がうまくいかないこともあります。

体重が増えることによって糖尿病や脂質異常症、高血圧等の生活習慣病になってしまう方もおられます。

当院では、毎日のお食事の様子や体の動き、1日の過ごし方等を聞きながら、その方にあった食生活や運動のアドバイスをしています。また、小グループのミニ講座として医師や看護師、管理栄養士、薬剤師等多職種による「らくなんヘルシー講座」を開催しています。体重のこと、生活習慣病のことなど気になる方は、気軽にご相談ください。



<らくなんヘルシー講座>

	1日目	2日目
内 容	◆自分のからだと生活習慣チェック ◆生活習慣病を予防しよう ◆間食との上手なつきあい方	◆知っておきたいところの治療と薬のお話 ◆1日の過ごし方
スタッフ	医師・看護師・臨床心理士・薬剤師・管理栄養士	

活動報告（院外学術発表等）

「医療の質の評価・公表等」について優秀賞受賞

公益社団法人全国自治体病院協議会が行う「医療の質の評価・公表等推進事業」において、平成29年10月優秀賞をいただきました。

・経営改善の取組みと今後の課題～精神科医療の質の評価と病院経営～（第56回全国自治体病院学会 山下俊幸）

医 局

- ・厚生労働省「精神障害者の人権確保に関する研究」
(山下俊幸)
- ・厚生労働省「多様な労働者がストレスチェックを受検するに当たって望まれる支援に関する研究」(山下俊幸)
- ・日本医療研究開発機構「精神科救急医療機関における危険ドラッグ関連障害患者の病態と対応に関する研究」(山崎信幸)
- ・「京都府立洛南病院における行動制限の現状と今後の課題について」(第122回近畿精神神経学会 高橋加奈子、中村陽子、山崎信幸、山下俊幸)

看護部

- ・日本認知症ケア学会「精神科入院を経験した若年性認知症者を介護する家族の思いに関する質的研究」(渡部智香子)

リハビリテーション科

- ・「精神科デイケア～現状とこれから～」
(作業療法ジャーナル51巻13号 岩根達郎)
- ・シンポジウム「精神障害者に対する認知リハビリテーションの実践」
(第51回日本作業療法学会 岩根達郎)
- ・教育講演「参加～精神科領域の作業療法士として～」
(第37回近畿作業療法学会 岩根達郎)
- ・教育講演「精神障害のある人のスポーツに関わって」
(第5回京都府作業療法学会 岩根達郎)
- ・シンポジウム「認知機能増強と社会場面の効果的な橋渡し」
(第4回CEPD研究会 岩根達郎)

みんなの 作品紹介

作者は30年くらい抽象画を描き続けておられます。

ジャンルの多くは「ミステリー」「前衛」だと彼は言います。最初にイメージのようなものはなく、キャンバスに色を重ねていくうちにまとまっていくそうです。画材に限らず様々な材料を用い、ダイナミックな動きでその表情を変化させていく過程はまるで魔法のようです。

最近自宅をギャラリーとして開放し、芸術活動をされています。

(デイケア絵画プログラム担当スタッフ)



「作品I」

外来診療のご案内

- ◆ 一般外来 統合失調症やうつ病など精神科の全ての疾患を対象にした外来です。
- ◆ 認知症専門外来 (認知症疾患医療センター) 「物忘れがある」「同じ話を繰り返す」などの症状のある方に、認知症の鑑別診断、行動・心理症状の治療を行います。若年性認知症外来も行っています。
- ◆ 思春期専門外来 中学生以上18歳以下の方を対象とした精神症状や問題行動、発達障害の疑いのある方の専門外来です。

予約について

- ・ 外来はいずれも「予約制」となっておりますので、来院の際は電話でご予約ください。
- ・ 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は「休診」です。(救急外来を除く。)

TEL. 0774-32-5900 平日の9:00～17:00

※電話交換手に「希望される外来名」と「初診の相談」であることをお伝えください



～私たちは、府民のこころの健康を支え、利用者の人権を守り、利用者中心の医療をめざします。～

京都府立洛南病院

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄広岡谷2 TEL/FAX 0774-32-5900

※まちがい電話防止のため、番号をよく確かめておかけください。